

広島県中小企業団体中央会 2017年5月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

5月の出荷量は前月比0.1%増加、前年同月比22.2%増加、売上高は前月比1.3%減少、前年同月比17.2%増加となった。

木材・木製品

●木材・木製品

福山木材協同組合

先行きは不透明である。

広島県木材協同組合連合会

平成29年4月の全国の住宅着工戸数は83,979戸で、前年同月比1.9%増加、また、季節調整済年率換算値では100.4万戸（前月比2.0%増加）となった。利用関係別では、持家は23,751戸で前年同月比0.8%増加、貸家は36,194戸で前年同月比1.9%増加、分譲住宅は23,708戸で前年同月比2.9%増加となった。なお、木造住宅の着工数は45,205戸で、前年同月比2.5%増加となった。

住宅着工の動向は、前年同月比で2ヶ月連続の増加となっている。

こうした全国の動きに対し、広島県内の4月の着工戸数は1,821戸で前年同月比20.3%増加、このうち、持家は439戸で前年比3.1%の減少、貸家は742戸で前年比52.0%増加、分譲は640戸で前年比13.3%の増加となった。県全体の住宅着工の動向は、昨年の堅調な動きの反動による一時的な減少傾向から、再び上向きの気配となったものの、回復基調を実感できないとの声もあり、地域別では広島市が着工戸数912戸で30.8%増加、呉市が178戸で182.5%増加、東広島市が104戸で16.9%増加、廿日市市が93戸で38.8%増加となった一方で、福山市は304戸で15.8%減少と、地域間でばらつきが見られ、会員の経営規模や業態によっても売上や採算、引合い等に好不調の差があり、需要の継続性についても見方が分かれる聞き取り結果となった。不安定な需要環境等から、中小の会員は依然厳しい経営環境にあり、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

景況は前月と変わらず厳しい状況である。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

国内自動車の生産、販売とも前年並みではあるが、原材料価格の上昇や人員採用難、ベースアップ等に伴う労務費の上昇により原価が圧迫されつつあり、収益状況は悪化する懸念がある。特に労働力人口減少による採用難は深刻である。今後、自動化・電動化や燃料規制への対応が急速に進行することが予想され、部品メーカーもそれに対応した開発費の増加が課題となっている。価格競争も非常に厳しくなっている。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

5月は稼働日数が少ないため、前月比減少。前年同月比は各社横ばい傾向にある。自動車関連、消費財製品市場も横ばい傾向にある。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

29年5月 3,247m³ (対前年16.8%増加)

29年4月 3,206m³

28年5月 2,780m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

広島県鋳物工業協同組合

輸送機器関係部門は堅調に推移しているが、一般機械関係部門の景況感の改善は見られない。

軋鉄鋼協同組合連合会

要因は様々であるが、当組合がある鉄鋼団地だけでなく、近隣地区の金属系製造業でも売上が落ちていると関係先からも声が聞かれる。

一般機器

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部地区において、タービン、コンプレッサ、製鉄機械、ゴムタイヤ機械等は低操業で、航空機関係についても月産台数の減少で定時操業の状況である。それに伴い協力会社は全体的に低操業の状態となっている。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月はスポット受注による増加があり、前月比35%増加、前年同月比22%増加となった。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は大口受注物件の納品があったため、前月比60%増加、前年同月比70%増加となった。受注は横ばい傾向である。

最低賃金の上昇が経営を圧迫している。雇用問題、賃金問題、残業規制など中小企業にとっては厳しい問題が多い。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

5月の国内自動車販売台数は全需が373千台、前年同月比12.4%増加と7ヶ月連続の前年超えとなった。登録車は前年比6.1%増加と10ヶ月連続の前年超え、軽自動車は25.3%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダ車は2.9%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

アメリカの4月の全需は1,426千台で前年同月比4.7%減少と4ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同7.8%減少と3ヶ月振りの前年割れとなった。

欧州の4月の全需は1,399千台で、前年同月比6.7%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。マツダ車は同5.4%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。

中国の4月の全需は2,180千台で、前年同月比2.1%増加。マツダ車も同17.9%増加と3ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況の中、マツダ車の4月の海外販売合計台数は105千台、前年同月比1.7%減少と2

ヶ月振りの前年割れとなった。

マツダの4月の輸出動向については、輸出台数は前年比4.2%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。

マツダの4月の国内生産台数は、前年同月比5.9%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。

●輸送用機械器具（造船）

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成29年5月の船舶建造許可実績は2隻298,000総トン（前月2隻104,500総トン、前年同月6隻256,350総トン）であった。なお、この2隻は貨物船で輸出船となっている。

因島鉄工業団地協同組合

5月はゴールデンウィークがあり売上は減少したが、季節的なものであり特に大きな変化はない。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

仕事量の減少により、残業が減少し、土曜日休日が増加した。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

4月以降特に変化はない。

マルニ木工が商工センターにオープンしたレクトに約45坪の直営店を出店。軌道に乗るまでには少し時間がかかりそうである。6月下旬にフェアを開催する予定である。

コントラクト関係は東京オリンピックに向け、受注の増加が期待されている。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

高速3号線や八幡川大橋の開通等により地区内の道路事情が良くなり、商工センター地域に対する企業の進出ニーズが高くなってきた。商工センター内は慢性的な土地不足となっている。

「資材関連」においては、非住宅関係は堅調であるが、住宅市場は減少傾向にある。

「食品」においては、概ね前年並みで推移している。

「繊維」においては、最高気温は上昇しても、朝晩の最低気温が低い日が多く、春夏物の売れ行きは低調である。身の回り品では販売単価が低下しており、デフレ気味である。

「雑貨」においては、生活雑貨の売上は、対前年比5%減少と苦戦。販売先小規模小売店の売上は減少し、コンビニの生活雑貨は値下げの方向である。中国の爆買い減少等も要因ではないかと見ている。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の3月度の住宅着工動向は、持家は対前年比8.7%減少、貸家は24.7%減少、分譲は1.9%減少し、アパート、賃貸マンションが激減している。単月ではあるが、先々に影響が出るものと思われる。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社(共同出資会社)

今月末で1社退会した。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

い草の生産農家では、先刈りに続いて杭打ち、網掛け作業などを行っているため、畳表の生産は休止している。売れ行きは畳み替えの仕事も多少出ているようで、入用買いの小口受注があるといった状況である。又、JAS規格の畳表は先月に比べると上昇している。相場は横ばいのままで変化はない。

小売業

●各種商品小売業

チェーンリップチェーン商業協同組合（チェーンストア）

5月の売上は、組合員以外の売上が若干増加したことにより、前月比増加、前年同月比減少となった。

先月より集金サイトを変更したことにより、資金繰りが悪化した。また、今年は青果物が豊作で、販売価格の悪化を招いている。

協同組合三次ショッピングセンター

来店者数と売上減少が続いているが、店舗によっては伸びているところもある。特に日曜日は市外への流出が多く、客数が大幅に減少している。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

5月度の販売実績は前年同月比7.2%減少となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比11.8%減少、冷蔵庫同9.5%減少、洗濯機同4.1%増加、IHクッキングヒーター同12.6%減少、エアコン同1.7%減少となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

資源エネルギー庁による小売価格調査では、広島県内は平均で前年同月比増加、前月比減少となった。レギュラーガソリンの前月比で1.4円の下落(月平均)であるが、安値量販志向の事業者の近隣では5円/L～7円/L下落している。

例年のことではあるが、ゴールデンウィークがあけると石油製品の需要が減少する。また、広島は黄砂が比較的少ないため、洗車需要も少ない。

通常、地政学的リスクが高まると、原油価格は上昇するが、北朝鮮による挑発が続く中アメリカの対応により、原油価格は下降気味で推移している。

人手不足の問題は続いており、多くの事業者が苦慮している。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

4月下旬に貸しビル1階の空き店舗に行政書士事務所が開設した。組合への加入については検討中とのことである。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比12.5%減少、前年同月比7.5%増加。車検場収入は前月比12.4%減少、前年同月比3.2%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比1.7%減少、前年比2.1%の増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

今月は、大型連休や、ショッピングセンター、鉄道等の大型工事が一段落し、全体的に低調である。全体工事の何割かを地元企業へと配分するような仕組み作りを望む。

建設業

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

5月はゴールデンウィークによる稼働日数の減少と年度末の駆け込み需要の反動減により前月比、前年同月比共に10%以上減少した。しかし、4、5月の2ヶ月間では前年比8%程度の増加となった。繁忙期が一段落し、職人からの工賃アップ要求が散見されており、組合員はユーザーであるゼネコン、ハウスメーカー、不動産会社等への工事契約価格上昇の交渉が肝要になってきている。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受注件数は、前月比24.7%増加、前年同月比0.6%増加となった。

神辺建設業協同組合

各自治体の本年度予算分の建設投資の発注が始まり、各社受注に意欲的であるが、建設資材の高騰や型枠工・鉄筋工を中心とした労務費も高騰しており、慎重な実行予算を余儀なくされている。

運輸業

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

5月は毎年のことながら、ゴールデンウィークの影響で稼働日数が少なく、売上高及び収益状況は前月比減少、前年同月比変化なしとなった。

4月から高速道路6社が車両制限違反者に対するETCコーポレートカードの大口多頻度割引停止措置を厳格化している。中でもトレーラーを所有している事業主は今まで対象となっていなかった「軸重違反」も違反累積点数の対象となった。「軸重」は通常軽量することが出来ない項目であり、運送業者各社は頭を抱えているのが現状である。これにより、関東方面ではトレーラーを運行する際には、高速道路の利用を控えている事業者も出てきているとのことである。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

今月は稼働日数が少なく、売上が減少した。

ドライバー不足が依然として続いている。

広島輸送ターミナル協同組合

5月は休日が多いため稼働率が悪く、収益も落ちている。

運送業全般においては、労働基準法による残業時間の問題により、長距離輸送が制約されたこと、ドライバー不足により荷物が受注できないこと、安全管理(運行前点呼、アルコールチェック、運行管理者の常駐など)に係る費用増などにより収益改善が難しくなっている。

荷主の製造等の拠点の移転・集約により、物流形態が変化しており、物流倉庫の整備や長距離輸送の制限によりJR貨物輸送や貨物船輸送などにシフトする流れは、今後も加速していくものと思われる。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比、前年同月比は公的評価(固定資産標準地評価)報酬の収入があったが、今月は、その収入分がないため売上高、収益状況共に悪化している。

依然として市内中心部の地価の上昇率は高い値を示している。